

あひびき

海岸は夜になつてからが面白い

松林を抜けて男と女は砂浜を歩いて行つた

飛び跳ねてゐる動物のやうに闇が異動をくりかへし

暗がりの密度を高めてゐる

女は言つた

「松林のところに痴漢にお気をつけ下さいつて書いてあつたわ」

男は言つた

「愛してゐる場合はちがふ」

離れた場所から四五人の女たちのはしやいだ声がした

歓声と同時に高く炎が立ち昇つてあたりを明るくした

炎は背のびしてからみあひながら色づいてゐた

男は女の頬のほてりを

女は男の横顔を見た

焚き火の女たちがいつせいに拍手をした

海から水を汲んできて女たちは火をしづめた

波の音だけがくりかへされてゐた

男は言つた

「あの人達は恋を燃やしにきたんだね」

海岸は夜になつてからが面白い